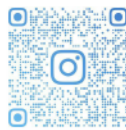


こんなときだからこそ公演を観に来てくれるとうれしいです



演劇ファミリー Myu
ぐんじ ちひろ
郡司千尋さん

Myuでは広報部としても活躍する郡司さん



郡司さんのインスタグラムです
ぜひフォローをお願いします
(pompom_chihiro0503)

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ

No.163

福寿草が咲き始めました。日差しが少しづつまぶしさを増してきて、春の足音が近づいてきましたね。三寒四温のこの時期は、体調も崩しやすいので気をつけてください。今回は、みの〜れ住民劇団演劇ファミリーMyuのメンバーで小美玉市堅倉地区にお住まいの郡司千尋さん取材します。

郡司さんにMyuに入団したきっかけを聞いてみました。「みの〜れの10歳記念事業で、住民の住民による住民のための100人ミュージカルの公募(みの〜れのテーマソングを歌う)があったときに応募して、その流れで入団しました。ミュージカルというより、ディズニーの映画が好きでそういう感じかなと思って・・10歳記念事業オリジナルミュージカル『未来ロケット』に出演しました」と話します。

「4歳になる前からクラシックバレエを習っていました。中学校に入って部活動が忙しくなって辞めたのですが、バレエは体調管理に役立っていたんだなと気付いたのはバレエを辞めてから・・また、別の先生の元で習い始めました」と話す郡司さんは、3月に公演予定の『わが家の天ぶら』に、ダンサー役で出演します。大学1年生の郡司さんは、入学してもコロナ禍でオンライン

ン授業が続きました。「パソコンの使い方や、ZOOMのやり方が分からないところがあったり、大学に行けないので同じクラスに友達もできなませんでした。そこで、他の学部に友達がいいたので一緒に調べたり、教えてもらうことができ良かったです。でも、コミュニケーションをとる学部なのでZOOMの授業でコミュニケーションをとることができたのは他の学部の生徒さんよりは良かったのかなと思います」と話してくれました。

現在、茨城県独自の緊急事態宣言で、Myuの稽古場となっているみの〜れも休館中です。そこで、今、オンラインで稽古をしているそうです。「動きがワンテンポ違うな!とか、立ち位置の距離感がちょっとつかめないとかありますね。稽古場に来るとやる気が出て、モチベーションとか上がるのですが・・」と話します。

Myuで、広報を担当している郡司さんは、「文章を書くのは大変だし、難しいですね。簡単な言葉だと幼く思われてしまうし、何回も同じ言葉を使うのもどうかかって。でも、写真を撮ったり加工したりするのが好きだからいいですね。SNSで発信した投稿を『見たよ』と言って公演を観に来てもらえたら嬉しいなあ」と笑顔で話してくれました。

3月の公演に向けて、「コロナ禍で1回延期になって、オンライン稽古や舞台の転換をミニチュアで発信したり初めて経験することが多いです。もし、コロナじゃなくても活かせることはたくさんあると思います。気分転換に公演を観に来てもらえたら嬉しいですね」とにっこり。

わが家の天ぶらは13年前の作品を現代風にリメイクしたものです。心が温まる作品なのでぜひ、観に来てください。

(藤田佐知子)